SPECIAL COUPON

今回「寄り道ふぇにーちぇ」にご登場いただいた
“チャボさんのお茶”さんより

読者のみなさまへ
ステキなプレゼント！

こちらの「フェニーチェ堺 Vol.36」を
チャボさんのお茶さんへ
ご持参いただいたお客様 ▶▶

※クーポンのご利用は2027.1.31まで

ジェラートモナカ
「ジェラ・モナ」100円引き

※お会計の時にこちらの誌面をご提示ください



sacay（サカイ）メイト募集！

フェニーチェ堺や堺市文化振興財団で取り扱うチケットを
便利にご購入いただけるサービスです。



登録数 76,000人

登録無料
詳しくは sacayメイト 検索



©オカジマ サエ

「sacayメイト」4つの特典

- 特典01 **先行予約** チケットがいち早く予約できる（一部公演を除く）
- 特典02 **WEBチケット購入** どこからでもチケットが買える
- 特典03 **メルマガ配信** 最新の公演情報をメールでいち早くお届け
- 特典04 **その他** お得な情報が届くかも？

フェニーチェ堺・堺市文化振興財団への 寄附のお願い 賛助会員の募集

フェニーチェ堺をはじめ堺市文化振興財団をご支援いただく寄附および賛助会員を募っております。公益財団法人である当財団への寄付は税制上の優遇措置が受けられます。賛助会員には会員特典としてフェニーチェ堺情報誌・活動報告書や堺 アルフォンス・ミュシャ館ミュージアムニュースの郵送のほか、堺 アルフォンス・ミュシャ館企画展へのご招待やフェニーチェ堺および堺市立栂文化会館主催公演へのご招待などがございます。詳しくはホームページ、または堺市文化振興財団 総務課までお問い合わせください。

賛助会員のお申込みはこちら

TEL.072-228-0114（平日9:00～17:30） FAX.072-228-0115



［開館時間］9:30–17:15（入館は16:30まで）［休館日］月曜日、年末年始（12/28～1/4）、休日の翌日（1/12、2/24、3/23）※ただし、1/11、2/12・22、3/22は開館
［観覧料］一般510円 / 高校・大学生310円 / 小・中学生100円
［主催］公益財団法人堺市文化振興財団 / 堺 アルフォンス・ミュシャ館［後援］在堺チェコ共和国名誉領事館
※小学生未満、堺市内にお住まいの満65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。※20人以上の団体は割引料金適用となります。事前にお問い合わせください。※その他各種提携割引制度があります。
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺弐番館（JR堺市駅下車徒歩約3分）［TEL］072-222-5533［FAX］072-222-6833［HP］https://mucha.sakai-bunshin.com



FENICE
フェニーチェ堺
2026 Vol.36
まちと劇場
SACAY

特集

大ホールの豊かな響きを満喫する2つの特別公演
京都市交響楽団＆関西フィルハーモニー管弦楽団

〈Pick Up〉
川口成彦 スペシャルインタビュー
「川口成彦 フォルテピアノ リサイタルシリーズ 2026 ～万国博覧会の思い出～」

- 堺のまち・ひと「喫茶175」
- 寄り道ふぇにーちぇ「チャボさんのお茶」

©オカジマ サエ

～2027.02.06
主な主催公演・イベント

FENICE SACAY CALENDAR

11/28 土曜日 イベント
こども劇場パーク
時間11:00～17:00

12/5 土曜日 ジャズ
渡辺貞夫75周年
SADAO WATANABE
with Strings "NOW'S THE TIME"
開演16:00

12/16 水曜日 落語
鳳凰亭落語シリーズ
桂 吉弥 独演会
開演14:00

12/19 土曜日 クラシック
川口成彦
フォルテピアノ
リサイタルシリーズ2026
～万国博覧会の思い出～
開演15:00

'27 1/16 土曜日～30 土曜日 アート
ひっぱって にっこり
ハンペルマン展
時間9:00～20:00

'27 1/17 日曜日 クラシック
京都市交響楽団
堺特別公演
開演16:00

'27 1/22 金曜日 トークライブ
マーキー FreeStyle
カルチャー Talk5
開演19:00

'27 1/22 金曜日～24 日曜日 ミュージカル
ミュージカル
「ジャック・ザ・リッパー」
※開演時間はP08参照

'27 1/31 日曜日 落語
鳳凰亭落語シリーズ
桂 春蝶 独演会
開演14:00

'27 2/6 土曜日 クラシック
関西フィルハーモニー
管弦楽団
堺特別公演
開演15:00

◎文化庁シンボルマークの付いた公演は令和8年度の文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会の助成対象事業です。

チケット購入方法 WEB 電話 窓口

WEB購入
6:00～翌2:00
チケット購入ページ
sacayメイトへの登録が必要です
sacayメイト チケット 検索
〈引取〉セブン-イレブン ファミリーマート 配送、会館引取
※配送と会館引取はクレジット支払いのみ

電話予約
10:00～18:00
堺市文化振興財団チケットセンター
☎0570-08-0089［チケット予約専用］
※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。
〈引取〉セブン-イレブン ファミリーマート 配送

窓口直接購入
9:00～20:00
一般発売日の翌週より残席がある場合のみ販売

◆**フェニーチェ堺** TEL.072-223-1000
大阪府堺市堺区翁橋町 2丁1-1〈南海高野線「堺東」駅徒歩8分〉
休館日：第1・3月曜（祝日の場合は翌平日）および年末年始

◆**堺市立栂文化会館** TEL.072-296-0015
大阪府堺市南区桃山台 2丁1-2〈南海電鉄泉北線「栂・美木多」駅徒歩2分〉
休館日：月曜（祝日の場合は開館）および年末年始



フェニーチェ堺 大阪府堺市堺区翁橋町 2-1-1
南海高野線「堺東」駅 徒歩8分

駐車場
中央環状線を堺区安井町交差点方面から一条通り交差点方面へ進み、施設内へ左折
［駐車料金］30分/200円（最大料金の適用はありません）
［利用時間］00:00～24:00
※障害のある方にご利用いただける専用駐車場（3台）がございます。満車のため敷地内の有料駐車場をご利用された場合は、総合受付にて駐車券と障害者手帳等（身体障害者手帳、療育手帳、精神福祉手帳、障害者手帳アプリ他）をご提示いただきますと無料になります。※駐車台数は94台です。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※ご購入いただいたチケットは公演中止を除き、変更・キャンセルはできません。
※紛失・破損等いかなる場合においても再発行はいたしません。※WEB購入・電話予約での発券・配送には所定の手数料がかかります。
※最新の公演情報はフェニーチェ堺ホームページをご覧ください。都合により、出演者・曲目等の公演内容が変更になる場合がございます。

Editor's Voice
秋のフェニーチェ堺は、催しの内容によって毎日表情が変わります。天界に召されるような音楽（LSOの「復活」）がホールに響いたかと思えば、フリルワンピースやスーツを着た緊張気味の小学生が集まってくるピアノの発表会があったり、こちらまで気持ちが上がるパウスカートが眩しいフラダンスグループに突然囲まれたりもします。"推し活"カルチャーも刺激的です。間近でみる『痛バ』の大群、ランダムグッズの交換現場、"ぬい撮り"セッティングの上手さ！ 等々。人間の"好き"や"表現したい"という気持ちで溢れかえるフェニーチェ堺で、日々、異文化に圧倒されながらも仕事ができることに感謝する毎日です。（F）

フェニーチェ堺情報誌 Vol.36
編集：フェニーチェ堺（公益財団法人堺市文化振興財団）
クエストルーム株式会社
デザイン：赤坂由有（goldfish projection）
イラスト：オカジマ サエ
発 行 人：公益財団法人堺市文化振興財団

◎公演情報で"◎主催／フェニーチェ堺"と表記されているものは、フェニーチェ堺の指定管理者である公益財団法人堺市文化振興財団が開催する公演です。

劇場とわたし

11 音楽家 サウンド・アーティスト 橋本次郎





堺の音をたどり、まだ知らない風景へ

野村ホールディングス株式会社 創立100周年記念公演
ロンドン交響楽団 2026
指揮 サー・アントニオ・パッパーノ
〈2026年9月30日公演〉

〈序章〉旅のはじまり
旅に出ると、まずは耳を澄ませる。その土地では、どのような音が聴こえてくるのだろう。知らない街を歩き、風の音や人の声、鳥の鳴き声、暮らしの気配に耳を澄ませていると、目で見ている風景とはまた違った、その土地の姿が見えてくることがある。今回、ロンドン交響楽団の演奏を聴くために、堺を訪れた。劇場へ向かうその前に、少し街を歩いてみることにした。

〈第1楽章〉土地の音
その土地には、そこでしか聴くことのできない、文化や歴史、風土を背景とした「象徴的な音」があると考えている。その地に古くから伝わる祭礼や行事、その地ならではの気候や自然。そして、その地に生きる人びとの暮らし。そこから聴こえるさまざまな音が素材となり、その土地特有の響きを持った作品が生まれる。
わたしは各地でフィールドレコーディングを行い、そこで聴こえるサウンドスケープ（音風景）をモチーフに作品を制作している。土地に滞在し、音を手がかりにその地を見つめ、そこで感じたものを新たな響きとして形にすることで、その土地を感じることのできる作品を生み出したいと考えている。
では、堺では、どのような音が聴こえてくるだろうか。

〈第2楽章〉堺を歩く
仁徳天皇陵古墳から大仙公園を抜け、旧市街へ。古墳や公園では、鳥の鳴き声や木々のざわめき、人の足音や会話が聴こえてくる。旧市街へ入ると、数多くの寺院が点在し、堺がかつて自治都市・環濠都市として栄えたことを感じさせる。山口家住宅や鉄炮鍛冶屋敷を訪ね、紀州街道を歩く。かつて多くの人が行き交い、ものがつくられ、商いが営まれていた場所を今も歩くことができる。山口家住宅の庭では、雨の音に秋の虫の声が重なり、遠くからチンチン電車の音が聴こえてくる。昔の暮らしや、そこに響いていたであろう音を思い浮かべながら歩く。そんなふうに街をめぐるのも面白いかもしれない。
街を歩いていると、思いがけず、ある鍛錬所を見せていただくことができた。作業を終えたあとの工房に、静かに道具が並んでいた。その光景を見ていると、そこに響いているであろう音が聴こえてくるようだった。そんな静けさに触れて、むかしの劇場のことを思い出した。

〈第3楽章〉劇場の記憶
むかし、わたしはある合唱団に所属していた。そこで指導していた指揮者の方との出会いが、合唱団に入るきっかけだった。それからは、合唱団の一員として演奏会に参加するだけでなく、その方が関わる演奏会にも携わるようになり、劇場へ足を運ぶことが多くなった。その頃の記憶の中で、今でも印象に残っているのが、演奏会の前後の劇場である。開演前、まだ誰もいない客席。終演後、観客が帰ったあとの空間。そこには、時間が止まっているような静けさがあった。

〈第4楽章〉劇場で聴く
夕暮れ時、旧堺燈台のそばから海を眺め、フェニーチェ堺へ向かった。仁徳天皇陵古墳、大仙公園、旧市街、堺旧港と歩いてきたわたしの前に、現代的な建物が現れる。それまで歩いてきた街の風景とは、少し違った印象だった。ロビーには、来場者の話し声が重なっている。客席に入ると、ざわめきが次第に静まっていく。舞台からはオーケストラのチューニングの音が聴こえてくる。劇場もまた、ひとつの「音風景」なのだと思う。
この日の演奏は、ロンドン交響楽団と指揮者サー・アントニオ・パッパーノによる、藤倉大の《Amber AIchemy》と、マーラーの交響曲 第2番 ハ短調《復活》。《Amber AIchemy》では、いくつもの音が重なり合いながら、ひとつの響きをつくっている。堺の町を歩き、古い時間の重なりを感じてきたわたしには、その音楽がこの町の風景とどこか重なるように響いた。そして、《復活》が始まる。強い推進力に導かれ、鮮やかな変化を重ねながら進んでいく。響きが空間を満たし、劇場そのものが鳴っているように感じた。最終楽章を聴きながら、ヨーロッパの教会で聴いた讃美歌を思い出した。そして、かつて合唱団の一員として歌っていた頃のことも。街を歩いて聴いた音と、劇場で聴いた音。遠いむかしの記憶と、今ここで聴いている音。離れていたものが、音楽を通して静かにつながっていくようだった。
演奏が終わると、大きな拍手が劇場を満たした。カーテンコールの間も拍手は鳴り続けている。劇場は、そこへ集まった人たちが、同じ時間を共有する場所なのだと思う。その夜、わたしはとても豊かな時間を過ごすことができた。

〈第5楽章〉堺とわたし
劇場をあとにし、再び堺の町を歩く。夜の町には、昼間とはまた違った音が聴こえている。音は、場所の記憶を連れてくる。今回、堺で出会った音も、わたしの中でこの町の記憶になっていくのだろう。もし堺の音で作品をつくるとしたら、どのような音に出会えるだろうか。まだ聴いていない音が、この町のどこかにある。いつかまた、耳を澄ませながら歩いてみたい。



橋本次郎（はしもと じろう）
楽曲や音を主軸としたアート作品のほか、ある土地の文化や歴史、風土を背景とした「象徴的な音」をテーマに各地でフィールドレコーディングを行い、そこで聴こえるサウンドスケープ（音風景）をモチーフとした作品を制作している。
https://zeit-label.com

【劇場とわたし】は著名なアーティストや文化人がフェニーチェ堺に足を運び、実際に主催公演を鑑賞して書かれたものです。



大ホールの豊かな響きを満喫する 2つの特別公演

京都市交響楽団＆関西フィルハーモニー管弦楽団

話題のソリストを迎え、
注目の指揮者とオーケストラが奏でる
芳醇なハーモニー

’27 1/17 日 開演16:00　大ホール

全席指定　S¥6,000　A¥5,500　B¥4,000

京都市交響楽団 堺特別公演

沖澤のどか指揮の京都市交響楽団が、いま注目の兄弟ピアノデュオ ルーカス・ユッセン&アルトゥール・ユッセンと共演。

- 指揮／沖澤のどか
- ピアノ／ルーカス・ユッセン、アルトゥール・ユッセン
- 管弦楽／京都市交響楽団
- 曲目／ブーランク:2台のピアノのための協奏曲 ニ短調 FP.61
  ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」（1910年全曲版）







◎主催／フェニーチェ堺

［ チケット発売中 ］

WEB　電話　窓口　ぴ　ロ　e　★　Pコード332-607　Lコード52559

チケット取扱い

WEB「sacayメイト」WEB購入
電話　電話購入　窓口　窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください

ぴ チケットぴあ　ロ ローソンチケット　e イープラス　★ 未就学児入場不可

魅力あるフェニーチェ堺で聴く 関西を代表するふたつのオーケストラ

◎Text／磯島浩彰

2019年にオープンしたフェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）は、2000の客席を誇る公共ホール。ロンドン交響楽団や英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団といった世界水準の芸術を届けながらも、市民や地域に根ざした取り組みも並行して行なっている。とりわけ、音響の良さには定評があり、ミラノ・スカラ座フィルを指揮したチョン・ミョンフンは「こんなにも鳴るホールは珍しい」と絶賛し、韓国に新しく作るホールの参考にしたいと言っていたほど。堺市に本拠地を置く大阪交響楽団や堺シティオペラの公演だけでなく、関西のオーケストラの招致にも力を入れ、今シーズンは人気の京都市交響楽団と関西フィルハーモニー管弦楽団の登場が既に話題となっている。

京響はオープニングシリーズ以来2度目の登場となるが、常任指揮者沖澤のどかは、この2027年1月17日（日）の公演がフェニーチェ堺初登場。2024年に就任した「セイジ・オザワ松本フェスティバル（OMF）」の首席客演指揮者の契約を2031年まで延長した人気者の沖澤は、指揮するオーケストラがほぼソールドアウトになるなど無双状態が継続中。プログラムは人気のユッセン兄弟によるブーランクの『2台ピアノのための協奏曲』とストラヴィンスキーのバレエ音楽『火の鳥』（1910年全曲版）という聴き応えのあるものだけに、沖澤は70周年を迎える京響伝統のサウンドをフェニーチェ堺の大ホールで鳴り響かせ、新たなファンを獲得することだろう。なお、沖澤は11月14日（土）の東京混声合唱団の堺特別演奏会にも登場し、フォーレの『レクイエム』などを指揮する。こちらもチェックしておきたい。

一方、関西フィルを指揮するのは総監督・首席指揮者の藤岡幸夫。テレビの音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」のナビゲーターとしても広く知られ、全国のオーケストラからオファーの絶えない藤岡は、一貫してクラシック音楽の敷居を下げ、間口を広げ、ファン拡大に精力を注いできた。2027年2月6日（土）の公演は、ソリストとしてピアノの清塚信也が登場。藤岡と清塚は互いに「きよりん」、「サッチー」と呼び合う仲で、コンサートや音楽番組で共演し、軽妙なトークを繰り広げる間柄。今回もオープニングでトークのコーナーも準備されているが、清塚はピアノに向かうと真剣モード。劇伴作家としても定評がある彼は、自作の曲『アスタ・マニャーナ』（ミュージカル「ゴヤ-GOYA -」より）とラヴェルのピアノ協奏曲の2曲を演奏してくれる。後半は、交響曲ではなく、親しみやすい管弦楽曲を数曲演奏。プログラムを締めくくるのは藤岡が得意とするエルガーの『威風堂々』第1番。大笑いの先に感動が約束された、藤岡と関西フィルならではの安定のコンサートだ。

京響と関西フィルという関西を代表する二つのオーケストラを、圧巻の音響を誇るフェニーチェ堺で体験できるこの機会。ホールも楽器なので、それぞれのホームグラウンドでの聴き慣れた響きとは違った新鮮なサウンドが楽しめるに違いない。

磯島 浩彰〈音楽ライター〉／エンターテインメントの仕事に携わること40年。エンタメは人を元気にするチカラがある。こんな時だからこそ、エンタメの魅力をみんなに届けたい！と、面白いネタを探しに、今日もホールや劇場を飛び回っている。

’27 2/6 土 開演15:00　大ホール

全席指定　S¥5,500　A¥4,800　B¥3,800　C¥3,000

関西フィルハーモニー管弦楽団 堺特別公演

日本を代表するマエストロ藤岡幸夫率いる、関西フィルハーモニー管弦楽団の堺特別公演。絶大な人気を誇るピアニスト清塚信也とともに贈る、多彩な名曲で紡ぐ魅力あふれるひととき。

- 指揮／藤岡幸夫（関西フィル総監督・首席指揮者）
- ピアノ／清塚信也
- 管弦楽／関西フィルハーモニー管弦楽団
- 曲目／清塚信也（編曲:帝鵬）:アスタ・マニャーナ（ミュージカル『ゴヤ-GOYA-』より）
  ラヴェル:ピアノ協奏曲 ト長調、スッペ:喜歌劇「詩人と農夫」序曲
  リムスキー=コルサコフ:歌劇「雪娘」より“道化師の踊り”
  マスネ:歌劇「タイス」瞑想曲、エルガー:行進曲「威風堂々」第1番







◎主催／フェニーチェ堺 **［ チケット発売中 ］**

WEB　電話　窓口　ぴ　ロ　e　★　Pコード336-032　Lコード55991

チケット取扱い

WEB「sacayメイト」WEB購入
電話　電話購入　窓口　窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください

ぴ チケットぴあ　ロ ローソンチケット　e イープラス　★ 未就学児入場不可

Pick Up

川口成彦 Special Interview

フォルテピアノで誘う「万国博覧会」
「世界のどこかで、自分と共鳴し合う“何か”が待っているかもしれません」

「いつも物語性やオリジナリティを重視してコンセプトを決めているんです」。そう語るのは、フォルテピアノ奏者の川口成彦。今回7年目を迎えるフェニーチェ堺でのリサイタルは「万国博覧会」がテーマ。今年12月と2027年3月の2回に分けて紹介するのは26ヶ国。どんな国の音楽が登場するのだろうか。


©Taira Tairadate

―― このテーマにしようと思った理由はなんでしょうか。

僕自身、2025年の大阪・関西万博にポーランドパビリオンで屋外ライブをする機会がありましたが、もともと万博は音楽家に大きなインスピレーションを与えてきているんですよ。クロード・ドビュッシーも1889年のパリ万国博覧会でアジア音楽に強く影響を受けているので、僕もフォルテピアノの音色で万国博覧会をやってみたいなと思い、26ヶ国を選びました。

―― まずは、第1回の「古典派の時代の楽器で描く世界」について、教えてください。どんな国が出てきますか?

計11ヶ国が登場します。1795年頃のA.ワルターと1814年頃のJ.ブロードウッド&サンズ・スクエアピアノで演奏します。目玉になるのは僕が大好きな国・スペインから、ギター曲でも知られる『アルハンブラの思い出』、そしてノルウェーの民族音楽「ハルダンゲルフィドル」の音色を感じさせるノルウェーの民族舞曲『スロッテル op.72より』かな。昔のピアノって弦楽器感が強いので、これらの曲を演奏するにはぴったりだなと思います。それから、アジア方面の曲も入れたいなと思い、中国・王健中(ワン・ジャンツォン)『雲南省の民謡』も選びました。この曲に関しては、何かに導かれたとしか思えないエピソードがあるんです。選曲はしたものの、僕、楽譜を持っていなくて。すると、ある日サイン会でファンの方が「ぜひ弾いてほしい」とプレゼントしてくださったんですよ。もう、びっくりして、これは人知を超えたものに弾くことを求められているんだなと思ったんです。

―― それはすごい偶然ですね。第2回の「ロマン派と現代の楽器で描く世界」も楽しみになってきました。

第2回では、僕がずっと弾きたかった伊福部昭さんの「ピアノ組曲」を初披露します。僕、例えばポーランドの人たちが思うショパンのように、日本人として日本人の作曲家を大切にしなきゃって思って。それにこの曲、とても面白いんですよ。第1楽章は盆踊り、第2楽章が七夕、第3楽章が演伶(ながし)、第4楽章は倭武多(ねぶた)がテーマ。僕、日本人の持っている「儚さ」が大好きなんです。刹那的なものを大切にできる感性がかっこいいなと思うんですよね。ほか、1000年前の韓国伝統音楽を現代のピアノ音楽にした曲にも注目。韓国の音楽家イム・ドンチャンさんが、僕のために書いてくださいました。ほか、アメリカやキューバ、アルゼンチン、インドネシアなど幅広く選んでいます。

―― 今回はゲストも登場するそうですね。

そうなんですよ。さまざまな文化の音もお楽しみいただきたいなと思って、第1回は朝鮮半島の伝統的弦楽器を改良したソヘグムの奏者リャン・ソンヒさん、第2回は、アルゼンチンタンゴでおなじみのバンドネオン奏者、早川純さんをお招きします。

―― フェニーチェ堺のリサイタルでは、いつも修復家の山本宣夫さんが手掛けた楽器を弾いてらっしゃいます。

はい。ただ、第1回目では、初めて埼玉から太田垣至さん修復および復元のピアノを運び入れての演奏になります。音色には修復家の美学が出るので、音色の違いもぜひ聞いてみて。

―― 世界各国の魅力が伝わる楽しいリサイタルになりそうです。

自分の知らない世界に出会うのはとっても楽しいことだし、文化のエクスチェンジ(交換)って、感性を豊かにするものだと思うんです。特に音楽を聞くと、眠っていた感性が開く瞬間が必ずあるから。今回のリサイタルで「この曲いいな、どんな国なんだろう」と興味を持ったとしますよね。そして、これから、その地の名物を食べに行ったり、旅したりするようになるかもしれない。するとその先には、新しい人生に繋がるような出会いや出来事があるはずなんです。もしかすると、世界のどこかで、みなさんと共鳴する“何か”が待っているかもしれないですよ。

◎Interview&Text／田村のりこ

第1回 12/19(土) 開演15:00　第2回 '27 3/20(土) 開演15:00　全席指定 各回 一般¥4,000 U-25(25歳以下)¥1,500　小ホール

川口成彦 フォルテピアノ リサイタルシリーズ2026 ～万国博覧会の思い出～

約200年前のピアノで聴く、様々な国の情緒あふれる音楽―― 毎回異なるフォルテピアノとともに、全2回の公演で26カ国の音楽を巡ります。

第1回「古典派の時代の楽器で描く世界」

●曲目／[スペイン]ロペス:スペインのファンダンゴによる変奏曲、タレガ:アルハンブラの思い出(編曲:川口成彦) [ノルウェー]グリーグ:ノルウェー農民の舞曲「スロッテル」op.72 より
[中国]王建中(ワン・ジャンツォン):「雲南省の民謡」より [トルコ]モーツァルト:ピアノソナタ 第11番 イ長調 (トルコ行進曲付き) ほか
●使用楽器／A.ワルター1795年頃(復元楽器 製作:太田垣至)、J.ブロードウッド&サンズ [スクエアピアノ]1814年(オリジナル楽器 修復:太田垣至)

第2回「ロマン派と現代の楽器で描く世界」

●曲目／[ルーマニア]バルトーク:ルーマニア民族舞曲 [ポルトガル]サン=サーンス:リスボンの夜 op.63 [エジプト]サン=サーンス:イスマイリヤの思い出 op.100
[韓国]イム・ドンチャン:寿斉天(スゼチョン) [日本]伊福部昭:ピアノ組曲 ほか
●使用楽器／エラール1852年製(ヤマモトコレクション所有)、ファツィオリF308(フェニーチェ堺所有)

◎各公演の本編終了後、世界の楽器を紹介するコラボレーション演奏あり[第1回 ソヘグム演奏:梁聖晞(リャン・ソンヒ)][第2回 バンドネオン演奏:早川純]

[チケット発売中] ◎主催／フェニーチェ堺　WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★　Pコード334-500 Lコード54789

チケット取扱い
WEB「sacayメイト」WEB購入
電話 電話購入　窓口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください
ぴ チケットぴあ　ロ ローソンチケット　e イープラス　★ 未就学児入場不可

渡辺貞夫75周年 SADAO WATANABE with Strings “NOW'S THE TIME”






12/5(土) 開演16:00　大ホール

全席指定 S¥8,000 A¥7,000 B¥6,000 車いすS¥8,000 車いすA¥7,000

デビュー75周年。日本の音楽シーンを牽引してきたジャズ界のスーパーレジェンドが、極上のサウンドを堺へ。率いるは、幅広い音楽性で80年代から渡辺貞夫と共演を重ねるラッセル・フェランテ(p)、パット・メセニーやウィントン・マルサリス、ジョージ・ベンソンらと共演してきたベン・ウィリアムス(b)、峰厚介カルテットや藤井郷子Tokyo Trioで活躍し、自身のカルテットも率いる竹村一哲(ds)、CM・ドラマ・アニメ・映画音楽の分野でも多くのレコーディングに参加する実力派アンサンブル・押鐘貴之ストリングス。レジェンドが息の合った仲間たちと魅せる円熟のステージを、お見逃しなく。

[チケット発売中] ◎主催／フェニーチェ堺

WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★　Pコード334-680 Lコード54635

Sawano Hiroyuki [nZk] LIVE 2026



12/6(日) 開演17:30　大ホール

全席指定 ¥9,500

『進撃の巨人』『機動戦士ガンダムUC』『七つの大罪』など、数々の大ヒットアニメ作品の音楽を手掛けてきた作曲家・澤野弘之。
壮大でドラマティックなサウンドで、映像作品の世界を音楽から彩ってきた澤野が、ボーカル楽曲に重点を置いて展開するプロジェクト「Sawano Hiroyuki [nZk](サワノヒロユキヌジーク)」がフェニーチェ堺に登場!
XAI、SennaRin、mizuki、Laco、Reiら実力派ゲストボーカルを迎え、圧倒的なスケールで繰り広げるライブサウンドを大ホールでお楽しみください。

◎主催／(株)ソニー・ミュージックレーベルズ
(株)リバティ・コンサーツ
◎共催／フェニーチェ堺

KAZUYOSHI SAITO LIVE TOUR 2026 “日常Days”



12/18(金) 開演18:30・19(土) 開演17:00　大ホール

全席指定 ¥8,800

斉藤和義のバンドツアーとしては初めて弦楽四重奏を加えたスペシャル編成でお届けするツアー。
斉藤和義とは長きに渡り数多のステージを共にしているGuitar・真壁陽平、Bass・隅倉弘至、Drums・玉田豊夢という盤石の布陣のバンドメンバーに、生ストリングスをフィーチャーしたニューアルバム『日常Days』のレコーディングにも参加した“美央ストリングス”から弦楽四重奏を迎え、“バンド+弦楽四重奏”によるスペシャル編成が織りなす豪華アンサンブルをお届けします。

◎主催／(株)リバティ・コンサーツ
◎共催／フェニーチェ堺

WEB ぴ ロ e

チケット取扱い
WEB「sacayメイト」WEB購入
電話 電話購入　窓口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください
チケットぴあ　ローソンチケット　イープラス
★ 未就学児入場不可

ミュージカル '27 1/22(金)～24(日) 開演 1/22(金)13:30　1/23(土)12:30、17:30　1/24(日)12:30　大ホール

全席指定　S¥15,500　A¥9,000

ミュージカル「ジャック・ザ・リッパー」







その動機は、愛か、狂気か。大ヒットミュージカル「ジャック・ザ・リッパー」が、フェニーチェ堺で待望の再演！切り裂きジャックの"真実の物語"が、日本中を熱狂の渦に巻き込みます。

- 演出／白井 晃
- 出演／木村達成・平間壮一（ダニエル／Wキャスト）、加藤和樹・松下優也（アンダーソン／Wキャスト）、加藤和樹・堂珍嘉邦（ジャック／Wキャスト）、熊谷彩春（グロリア）、花乃まりあ（ポリー）、田代万里生（モンロー）

◎主催／ABCテレビ
(株)キョードーエンタテインメント
フェニーチェ堺
［11/1(日)チケット発売］
WEB 電話 ぴ ロ e ★

ミュージカル '27 3/3(水) 開演15:00　大ホール

全席指定 ¥500

DAIONミュージカル「湖底のブラームス」ハイライト版


©斎藤逼

真夜中になると、湖の底からブラームスの弦楽四重奏曲が聞こえてくる――。そんな不思議な伝説が残る湖を舞台に、老婆ナーナと孫娘アンリがたどる、過去と記憶をめぐる物語。

- 演目／湖底のブラームス　● 原作・作詞／羽鳥三実広
- ハイライト版脚本／堀つばさ　● 作曲／七ツ谷ゆみ、松田ひろ子
- 演出／松田ひろ子　● 振付／圓月久美子・秋山舞
- 出演／大阪音楽大学短期大学部ミュージカル・コース学生、DAION座

◎主催／フェニーチェ堺、さかいステージサービス
［11/14(土)チケット発売］
WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★　文化庁

文 楽 '27 3/14(日) 開演 第一部12:00 第二部15:00　小ホール

全席指定 ¥5,500

THE フェニーチェ文楽

人形遣い・桐竹勘十郎（人間国宝）の企画で毎年お届けする「THE フェニーチェ文楽」。今回は、幻想的で躍動感あふれる『本朝廿四孝　奥庭狐火の段』を上演します。太夫の語り、三味線の音色、そして人形遣いの技がひとつになって生まれる、文楽ならではの舞台。その奥深い魅力を、ぜひ劇場でお楽しみください。



◎主催／フェニーチェ堺
◎制作協力／一般社団法人 日本の伝統芸能
◎協賛／関西舞台株式会社、株式会社コテンゴテン
［12/26(土)チケット発売］
WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★　文化庁

落 語 11/25(水) 開演14:00　小ホール

全席指定 ¥4,000

鳳凰亭落語シリーズ 桂 米團治 独演会

「品」と「色気」が織り成す、華やかな落語の桂米團治。
今年のフェニーチェ堺特別企画【名作落語聞き比べ】では、多くの人を魅了した上方落語屈指の大ネタ「らくだ」を披露。米團治と吉弥が月替わりで、それぞれの独演会で高座にかけます。語り手の違いによる"味わいの変化"をぜひお楽しみください。



- 出演／桂米團治、桂惣兵衛、桂慶治朗
- 演目／らくだ ほか

◎主催／フェニーチェ堺
◎協賛／セルビスグループ
◎制作協力／米朝事務所
［チケット発売中］
WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★　Pコード544-232 Lコード51541　文化庁

落 語 12/16(水) 開演14:00　小ホール

全席指定 ¥4,000

鳳凰亭落語シリーズ 桂 吉弥 独演会

人気と実力を兼ね備えた正統派、桂吉弥。
多くの人を魅了してきた上方落語屈指の大ネタ「らくだ」を、フェニーチェ堺特別企画の【名作落語聞き比べ】で披露します。昨年、NHKの生誕100周年記念ドラマで大師匠の桂米朝を演じた吉弥による熱演を、ご堪能ください。



- 出演／桂吉弥、桂佐ん吉、桂弥っこ
- 演目／らくだ ほか

◎主催／フェニーチェ堺
◎協賛／セルビスグループ
◎制作協力／米朝事務所
［チケット発売中］
WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★　Pコード544-231 Lコード51595　文化庁

落 語 '27 1/31(日) 開演14:00　小ホール

全席指定 ¥3,500

鳳凰亭落語シリーズ 桂 春蝶 独演会

心揺さぶる声、華のある高座の桂 春蝶。昨年に引き続き、フェニーチェ堺の鳳凰亭落語シリーズへ登場！
演目は「芝浜」ほかを披露。春蝶ならではの独自の世界観、至高の語りをお楽しみに！



- 出演／桂 春蝶
- 演目／芝浜 ほか

◎主催／フェニーチェ堺
◎協賛／セルビスグループ
［チケット発売中］
WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★　Pコード545-364 Lコード52459　文化庁

落 語 '27 2/22(月) 開演14:00　小ホール

全席指定 ¥4,000

鳳凰亭落語シリーズ 春風亭一之輔 独演会

今年で噺家生活25周年を迎えた春風亭一之輔。誰もが惚れる語りと人気を併せ持つ江戸落語の名手が、フェニーチェ堺へやってきます。人間味あふれる語り口と古典落語の面白さを、存分に堪能あれ。



- 出演／春風亭一之輔 ほか

◎主催／フェニーチェ堺
◎協賛／セルビスグループ
［12/12(土)チケット発売］
WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★　文化庁

落語 '27 2/23 火・祝 開演13:00 大スタジオ

自由席 ¥1,500

まちなか落語めぐり　第二帖（じょう）
「茶の湯と豪商たちの堺」（仮）

歴史と文化あふれるまち「堺」を舞台にした創作落語1本と古典落語を1本、そしてゲストを招いた観光トークの計75分！堺のまち歩きに便利な、オリジナルの観光マップも配布します。この日初披露となる創作落語をお楽しみに。

● 出演／桂 福丸、川上浩（ゲスト）



◎主催／フェニーチェ堺
［11/21（土）チケット発売］
WEB 電話 窓口 ★

クラシック '27 2/24 水 開演15:30 SACAY TERRACE SALTO

全席指定 ¥1,500 ※当日別途飲食代（ケーキセット）が必要

音楽のあるひととき Vol.24
弦の響きに恋するティータイム
～巨匠ベートーヴェンを添えて～

大阪交響楽団のメンバーとお届けする、気軽に楽しめる1時間（ひととき）。イタリアンレストラン「SACAY TERRACE SALTO」にて、スイーツと音楽が織りなす上質な午後をお届け。巨匠ベートーヴェンの激情あふれる弦楽三重奏曲をはじめとしたプログラムで、皆様を奥深きクラシック音楽の世界へと誘います。

音楽のあるひととき

● 出演／大阪交響楽団：髙東典央（ヴァイオリン）、早田 類（ヴィオラ）、渡戸由布子（コントラバス）
● 曲目／ベートーヴェン：弦楽三重奏曲 第4番 ハ短調 Op.9-3 ほか

※スタッフがお席まで案内します
※相席になる場合があります
◎主催／フェニーチェ堺、公益社団法人 大阪交響楽団
［申込期間：11/26（木）12:00～12/16（水）13:00］
WEB ★

トークライブ '27 1/22 金 開演19:00 大スタジオ

自由席 ¥3,000

マーキー FreeStyle カルチャー Talk5




昭和・平成・令和のポップカルチャーをラジオの世界から発信し続けてきたDJマーキーが、今気になるゲストを招きその魅力に迫る90分！
第5回のゲストは80～90年代をパワフルに駆け抜けた伝説のタレントで現在もテレビ・ラジオに幅広く活躍中の森脇健児！還暦を目前に現在の活動、ラジオ、スポーツ、元気の秘訣をマーキーと語り尽くします。

● ホスト／マーキー ● ゲスト／森脇健児 ● アシスタント／板東さえか

◎主催／フェニーチェ堺　◎協力／株式会社マッシュアップ
◎企画／株式会社 山川徳久事務所
◎後援／FM COCOLO
［11/14（土）チケット発売］
WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★

落語 '27 3/7 日 開演14:00 小ホール

全席指定 ¥4,000

鳳凰亭落語シリーズ
桂 宮治 独演会

爆笑滑稽話からドラマチックな人情噺まで多くのネタを持ち、その日の客席と呼応して披露する、エネルギッシュな落語――。江戸落語で大人気の桂宮治が再びフェニーチェ堺へ登場します！

● 出演／桂 宮治 ほか



◎主催／フェニーチェ堺
◎協賛／セルビスグループ
［11/14（土）チケット発売］
WEB 電話 窓口 ぴ ロ e ★
Pコード546-129
Lコード56359

イベント 11/28 土 時間11:00～17:00 翁橋公園

入場無料（有料工作イベントあり）

こども劇場パーク



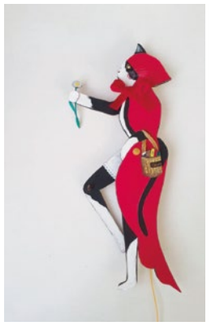
こどもから大人まで誰でも楽しめる屋外イベント「こども劇場パーク」。今年は『仮面舞踏会』をテーマに、みんなで踊るダンスや工作のイベントを開催します。仮面舞踏会の振り付けレクチャーは、ダンスカンパニーのセレノグラフィカ。舞踏会をもっと楽しむための仮面や変身マントを自分で作るワークショップ（工作イベント）も実施します（※要申込）。そのほか、フェニーチェ堺にちなんだ謎解きゲームも。昨年好評だった「堺のめぐみ」の野菜販売やキッチンカーもやってきます！

◆工作イベント（300円）①仮面をつくろう！ ②変身マントづくり
［申込期間：10/3（土）～11/17（火）17:00まで（WEBのみ）］
※雨天の場合は一部内容を変更し、小ホールで開催
◎主催／フェニーチェ堺

アート '27 1/16 土～30 土 交流・創作ガレリア

入場無料　9:00～20:00（最終入場時間19:30）

ひっぱって にっこり ハンペルマン展
ーよねざわともみの世界ー




ハンペルマンとは、ドイツ語で“手足をバタバタするひと”という意味の、ヒモ仕掛け人形。壁に掛けられたハンペルマンの足から垂れたヒモを引いて、手足がぴょこぴょこと動き出すのが「おもしろい」「かわいい」と大人気です。関西在住のハンペルマン作家よねざわともみが、さまざまな素材やヒモのかけ方の工夫で魅了するオリジナル作品の数々を、実際にさわって楽しんでください。期間中によねざわともみ本人によるワークショップも予定しています。

◎主催／フェニーチェ堺
※詳細は決まり次第ホームページにて発表

演劇 11/27 金 11/28 土・29 日 12/23 水～26 土 大スタジオ

［vol.15］一般¥2,500　U-25（25歳以下）¥1,500
［vol.16 vol.17］一般¥5,000　U-25（25歳以下）¥3,000

フェニーチェ演劇解体新書

講師の藤井颯太郎（俳優・作家・演出家）と参加者が一緒に考え、試しながら作っていくワークショップシリーズ。“少し学んで沢山考える”贅沢な時間です。



vol.15
「DRAMA発 THEATRE行き」
11/27（金）16:00～21:00
ドラマ脚本を演じる

vol.16「遠距離演劇してみる？」
11/28（土）～29（日）13:30～18:30
遠くから眺める演劇を作ってみる

vol.17
「“バカがミタカッタ世界”と音楽劇をつくる」
12/23（水）～26（土）19:00～21:00
音楽から物語を生み出してみる

● ゲスト講師／バカがミタカッタ世界（音楽ユニット）
※vol.16、17は全日程の参加を推奨



◆対象／中学生以上（未経験者、初参加者歓迎）
◎主催／フェニーチェ堺
［申込受付中］※vol.15は受付終了
WEB

講座 '27 1/15 金 開演13:30 多目的室

自由席 ¥1,200

フェニーチェ堺 講座シリーズ
《大人のための「好き」をみつける劇場への扉》
第4回 人形浄瑠璃文楽編



人形浄瑠璃文楽は、物語や登場人物を知ってから観ると、その魅力がぐっと深まります。はじめての方でも楽しめるよう、わかりやすい解説で定評のある東晴美先生を迎え、3月に開催予定の「THE フェニーチェ文楽」の演目を題材に、物語の背景や見どころ、文楽ならではの魅力をわかりやすくご紹介します。文楽に興味を持つきっかけとしてもおすすめの講座です。

● 講師／東 晴美（群馬県立女子大学講師、日本女子大学学術研究員）
● ゲスト／桐竹勘十郎（人形浄瑠璃文楽座・人形遣い／人間国宝）

◎主催／フェニーチェ堺
［11/14（土）チケット発売］
WEB 窓口 ★

だれもが共に音楽を楽しめる場作りをめざして ～音楽ワークショップラーニングコミュニティ～

堺市文化振興財団では、学校、こども園、病院、福祉施設、こども食堂といった地域の様々な場所でコンサートやワークショップを実施しています。クラシック音楽やオペラ、バレエ、伝統芸能などの鑑賞プログラムから、絵画や造形、コンテンポラリーダンス、演劇などのワークショップまで、幅広いジャンルのアーティストと連携し、実施先の先生やスタッフの方とコミュニケーションを取りながらプログラムを企画しています。また、こうした現場で活動したい若手アーティストの育成支援にも取り組んでいます。楽譜が読めなくても、楽器が弾けなくても、音楽を奏でる喜びをみんなで共有できる音楽ワークショップは、音楽ホールのみならず、全国の学校や福祉施設にもその輪が広がっています。









「音楽ワークショップラーニングコミュニティ」とは、そんな音楽ワークショップを通じて活動の幅を広げたい人を対象として実施する「ワークショップスキル夏季集中講座」の参加者が、その後も継続的に集まって共に学び合う場です。
講師には、さまざまな場所で乳児から大人まで幅広い層を対象にしたワークショップを展開する音楽ワークショップ・リーダー／ファシリテーター の古橋果林さんを迎え、地域のさまざまな現場での実践につなげていけるよう、お互いにワークショップのアイディアを試し合ったり、新たな手法を生み出したりしています。
昨年度には、このコミュニティで学び合うメンバー同士で集まって、堺市内の子育てサークルでワークショップを開催したり、古橋さんが継続的に取り組んでいるこども食堂でのワークショップに参加したりしたメンバーもいました。
コミュニティのメンバーたちの今後の活躍に、ぜひご注目ください！



ミュシャからのたより

19世紀末から20世紀初頭のアール・ヌーヴォー期を代表する芸術家アルフォンス・ミュシャの作品約520点を所蔵する、世界有数の専門美術館【堺 アルフォンス・ミュシャ館】。現在開催中もしくは近々開催される企画展より、注目の作品をご紹介します。※企画展の詳細は本誌裏表紙をご覧ください。

夜の安らぎ：一日の四つの時

一日の時間の流れを、自然の中で過ごす女性の姿で表現した《一日の四つの時》シリーズの中の一点です。目を閉じて静かにうつむく女性は裾の長い古代風の装いで描かれており、時を象徴する女神のような印象を受けます。女性の周りは曲線的なデザインに植物が配されたフレームで囲まれており、19世紀末のヨーロッパで流行した装飾的な芸術様式「アール・ヌーヴォー」の特徴が色濃い作品です。ミュシャは鑑賞者の目を疲れさせないように構図や配色を工夫しており、自然なポーズと空間の動きを固定するフレームが鑑賞者に安らぎを与えています。
このシリーズには他に「朝の目覚め」「昼の輝き」「夕べの夢想」があり、それぞれに衣装や髪の色、ポーズの違う女性が描かれています。これらの作品は「装飾パネル」と称される室内装飾用のポスターとして制作されました。ポスター画家として人気を博していたミュシャの絵を室内に飾りたいという要望は多く、このシリーズの他にも「四季」や「宝石」などのテーマでさまざまな装飾パネルが制作されました。
アルフォンス・ミュシャ《夜の安らぎ:一日の四つの時》1899年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市）蔵

ポッドキャストで公演体験！

フェニーチェ堺 after stage

大ホールと小ホールで行われたフェニーチェ堺主催公演の来場者アンケートの感想を一部抜粋して紹介する、約10分間の音声配信番組「フェニーチェ堺 after stage」。公演にまつわるプチ情報や、終演後に出演者から直接うかがったお話などもお伝えしています。聴取は無料です。

最近の配信内容

- '26 8/19（水）「0歳からの親子で楽しめるコンサート」
- '26 9/22（火・祝）「ザクセン声楽アンサンブル 創設30周年記念コンサート」
- '26 9/30（水）「ロンドン交響楽団2026 指揮サー・アントニオ・パッパーノ」
- '26 10/12（月・祝）「ガボール・タカーチ＝ナジ指揮 ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団 藤田真央（ピアノ）」
- '26 10/14（水）「ワカテdeワカル フェニーチェ文楽 vol.7」

こんなにオープン!?

コンサートだけじゃない！ みんなのフェニーチェ

フェニーチェ堺ではこどもたちや地域の皆様に向けて、毎年様々なイベントを開催しています。楽しみながら多様な文化・芸術に触れることで、きっと新しい扉が開かれるはず！

夏のこどもワークショップDAY ふしぎな百鬼夜行ファッションショーの音楽会

◎2026年8月19日（水） 大スタジオほか

こどもたちのワクワクを刺激する夏のアート体験♪





元気いっぱいの小学生が右へ左へ大忙し！恒例のこども向けイベント「夏のこどもワークショップDAY」を今年も開催しました。「夏休みホールたんけんたい」では大ホールの地下や舞台裏に潜入し、また俳優・人形劇師の谷口直子さんのワークショップでは影絵人形を一緒につくって物語を演じました。大学生のお兄さんお姉さんたちと巨大シャボン玉や魔法のステッキなどをつくる工作コーナーも大盛り上がり！同時開催の「ふしぎな 百鬼夜行−ファッションショーの音楽会−」では美術家の井上信太さんと妖怪に変身し、ランウェイを練り歩きました。

Dance Power 2026 in フェニーチェ堺

◎2026年8月23日（日） 大ホール

強豪ひしめく堺の地で開催☆高校ダンスの祭典





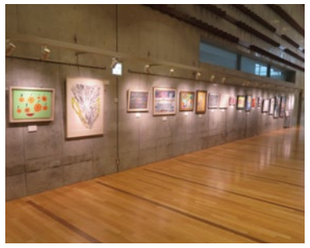
堺市を中心に15校19チームの高校ダンス部が集結。フェニーチェ堺大ホールという大舞台で本格的な音響や照明の演出のもと、多くの観客に見守られながら日頃の練習の成果を披露しました。バブリーダンスで知られる振付師のAkaneが振り付け、大阪・関西万博でも活躍した振付師のMiyukiがダンスを指導したグランドフィナーレでは、各校から選抜された119人のダンサーが圧巻のパフォーマンス!会場から大きな拍手を浴びました。

だーれが描いた？なーにを描いた？ 表現のフシギ展 第2回

◎2026年9月16日（水）～30日（水） 交流・創作ガレリア

劇場で出会う“共生社会の入り口”





昨年度に初開催し好評を博した「表現のフシギ展」の第2弾。関西を代表する「やまなみ工房」と「たんぽぽの家アートセンターHANA」に加えて地元・堺の「ユウの家」から、障がいのある方が手がけたアート作品21点を展示。14日間で約3,500人が訪れ、色彩とエネルギーあふれる創造の世界に触れました。25日（金）には、やまなみ工房の作家たちを描いたドキュメンタリー映画「地蔵とリビドー」の上映と、ゲストにやまなみ工房施設長の山下完和さんとアーティスト・著述家のアサダワタルさんを招いたトークセッションも行いました。

知的・発達障がい児（者）にむけての劇場体験プログラム 「劇場って楽しい!! 2026 inフェニーチェ堺」

◎2026年9月26日（土） 大ホール

鑑賞しながら学ぶ体験型学習プログラム





知的・発達障がい児（者）を対象に、街(地域)の劇場へ鑑賞者として参加できる機会を増やし、芸術や文化に触れる機会を増やすことを目的として開催を続けている劇場体験プログラム「劇場って楽しい!! in フェニーチェ堺」。アクセシビリティ対応として手話通訳や字幕、音声補聴やイヤーマフ貸出など、誰もが安心して公演を楽しむことができる鑑賞サポート体制を整えて、公演を実施しました。対象者の皆さんとその支援者やご家族がクラシックコンサートを楽しみ、笑顔でお帰りになっていく姿がとても印象的でした。



SACAY TERRACE（サカイテラス） SALTO（サルト） ☎072-242-3850

フェニーチェ堺での公演鑑賞の前後に立ち寄れる、イタリアンレストラン「SACAY TERRACE SALTO（サカイテラス サルト）」。新鮮な食材を使った定番イタリアンに、高温で一気に焼き上げる薪窯ピッツァ、季節のスイーツも。風を感じるテラスではBBQも楽しめます。
大人数でのご利用や貸切にも対応。

- 営業時間／11:00～22:00［ランチ］11:00～15:00（l.o.）
  ［ディナー］17:00～21:00（l.o.）［カフェ］11:00～21:00（l.o.）
- 席数／店内約90席 テラス20席 〈テイクアウトあり〉



堺のまち・ひと Town & people SAKAI city

MAP 01

喫茶175

フランス修行で出会った伝統菓子に惚れ込んで

取材・文／田村のりこ　写真／佐藤純子

2025年7月に堺の五月町にオープンした「喫茶175」。築30年の純喫茶をそのまま使った店内は、あめ色のカウンターやイスに歴史を感じます。

そんな空間でスイーツを作り、丁寧にコーヒーを淹れてくれるのが店主の岩田和也さん。20代でフランス菓子を極めたいとフランス・リヨンへ留学。パティスリーで研修をする傍ら、さまざまな店のお菓子を食べ歩きました。そこで出会ったのがその後お店の看板商品となる「フラン」です。「素朴なのになぜこんなにおいしいのかと感動しました。しかも店によって味が違うんです。これをきっかけに、ますますフランス菓子にのめり込みました」。

帰国後、有名パティスリーや純喫茶で研鑽を積み、満を持して自分のお店をオープン。「フラン」（750円）を中心にスイーツとコーヒーを提供しています。

「フランは、卵や砂糖、生クリーム、牛乳など、シンプルな食材で作るお菓子です。当店ではオリジナルでレモンの皮を加え、爽やかな香りをプラスしています。どこか懐かしさの中に、新しさを感じていただけるお菓子なんですよ」。実際に食べてみると、むっちりとしたカスタードが口の中でなめらかにとけていき、バニラの風味も広がります。

また、他のスイーツも絶品ぞろい。どっしり固めのボリューム満点「季節のプリン」や、カスタードに注目したい「トンカ豆のシュークリーム」（640円）も魅力的です。トンカ豆は杏仁や桜などを合わせたような風味が特徴。ただのカスタードでは出せない、複雑でふくよかな甘みがたまりません。そのほか、週替わりの1品も用意。ハンドドリップで淹れてくれるオリジナルのコーヒー「175ブレンド」と共にゆっくりくつろげる空間です。








岩田さんは、堺に住んで4年目。「みなさん優しくて。お子さん連れもお越しくださいます。僕、昔からお店を作るなら、フランス菓子がメインじゃなく、喫茶店をやりたかったんです。お客さまが、日常のあわただしさの中でほっと一息つける場所、気分転換できる場所を作りたかったんです。みなさんにも気軽に立ち寄ってほしいですね」。

ところで、気になるのはお店の名前。「175」とは？「僕と妻の身長です。二人とも175㎝なんです」と店名の秘密を教えてくれた岩田さんでした。

喫茶175

☎080-9628-4796
〒590-0031 大阪府堺市堺区五月町1-28
- 月～金11:00～17:00
  土・日9:00～17:00
- 不定休　● Pなし

※プリンはシーズン毎の素材により価格変更あり

寄り道 Drop by FENICE ふぇに～ちぇ

MAP 02

取材・文／田村のりこ
写真／佐藤純子

チャボさんのお茶 ☎072-241-0956

〒590-0833 大阪府堺市堺区出島海岸通4-6-6
- 10:00～17:30（カフェは～LO17:00）
- 水・木・日定休 ※臨時休業はInstagramで告知　● P2台

詳しくはInstagramをご覧ください

日常の大切な時間に寄り添う「日本茶」で暮らしにときめきを

堺区出島海岸通の住宅街にある日本茶専門店「チャボさんのお茶」。文化住宅を改装して作られた店内には、茶葉や器、お菓子などが並んでいます。

店主のチャボさんは、堺っ子。ご両親が西湊町で30年営んできたお茶屋さんを急に引き継ぐことにしました。「当時、豆の産地や品種にこだわるサードウェーブコーヒーが話題になっていて。それなら日本茶も若い人にアピールできるのでは？」。こうしてチャボさんは孤軍奮闘。愛知県西尾産の抹茶や静岡、鹿児島などから茶葉を厳選し、オリジナルブレンドや自家焙煎にも力を注ぎました。煎茶、ほうじ茶、玄米茶、和紅茶など種類も豊富。イチオシは、お湯とミルクを注ぐだけで手軽に飲めるラテシリーズ（1,080円～）。抹茶、ほうじ茶、紅茶の3種があり、どれもコクのある味わいです。

「お茶は人生最高の『脇役』。仕事や家事の合間に日本茶でほっとする、そんな時間によりそうものでありたいんですよね。僕は生活すべてがわくわくするものであってほしいと願っているんです。だから、これは素敵だなと思う器や雑貨もセレクトしています」とチャボさん。店頭には栗どらやきやようかん（各399円）のほか、香川県高松市のジェラート店「オッティモ」とコラボした抹茶やほうじ茶などのジェラートモナカ「ジェラ・モナ」（648円）も並びます。試飲のほか、カフェスペースでお茶を飲むこともできるので、自分好みのお茶を探してみては？









SPECIAL COUPON
こちらの誌面をご持参いただいたお客様
「ジェラ・モナ」
100円引き
※クーポンご利用は2027.1.31まで

